

## 9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

### ① 組合消防費（防災安全課）

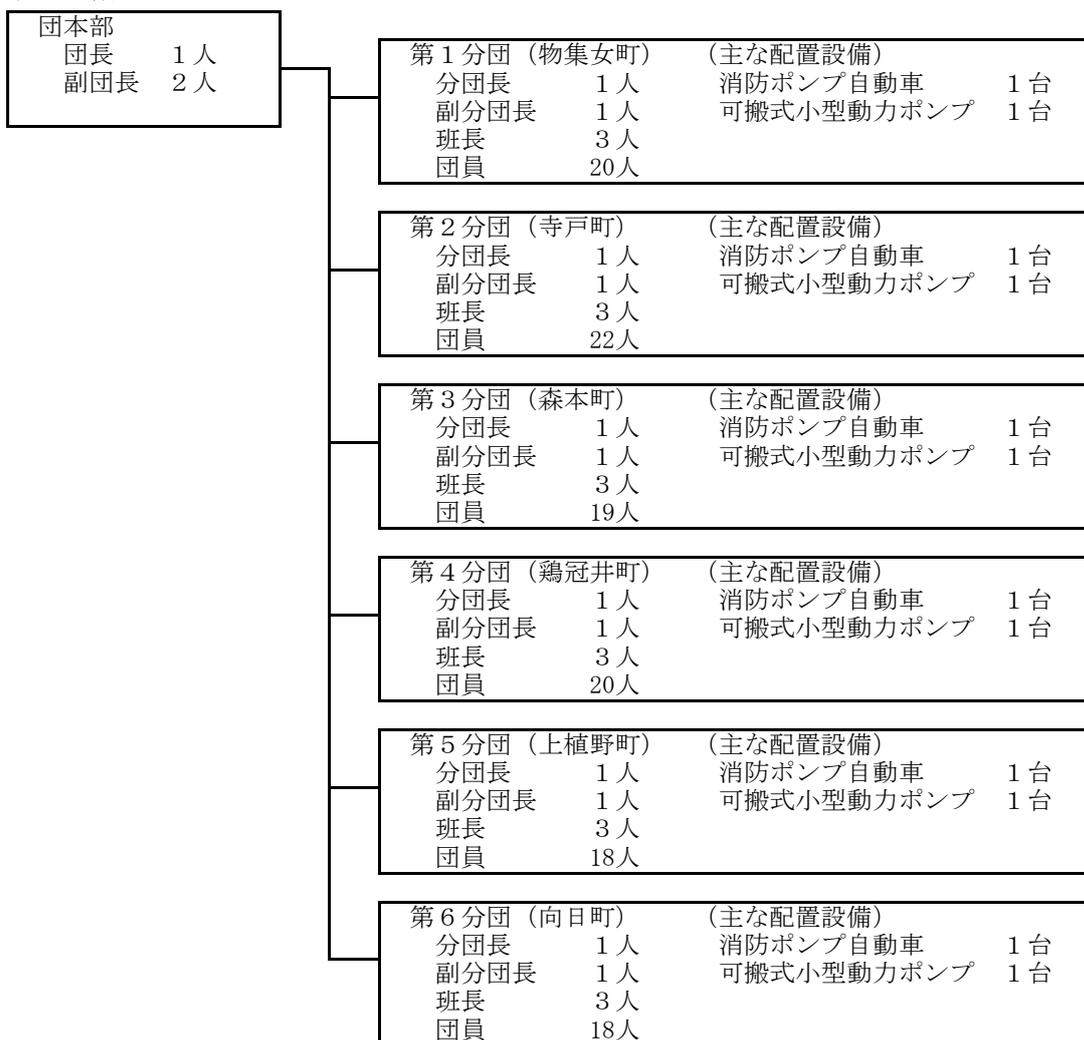
乙訓消防組合の運営経費について分担金を支出した。

## 9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

### ① 消防団活動費（防災安全課）

向日市消防団は、地域防災の中核として団長をはじめ全団員が一致団結し、防火防災活動及び各種訓練を行った。また、向日市及び乙訓消防組合向日消防署と連携を図り、安心・安全な市民生活の確保に努めた。

#### 1 組織



#### 2 定員と現在員

条例定員	現在員
150人	150人

3 年報酬と費用弁償

年 報 酬	(単位：円)
区 分	金 額
団 長	214,000 円
副 団 長	170,000 円
分 団 長	100,000 円
副 分 団 長	74,000 円
班 長	60,000 円
団 員	52,000 円

費 用 弁 償	(単位：円)
区 分	金 額
災 害 出 動	3,000 円
警 戒 出 動	2,000 円
訓 練 出 動	2,500 円
賄 費	1,000 円

4 表 彰

表 彰	種 類	人 数
消 防 庁 長 官 表 彰	永年勤続功労章	1 人
京 都 府 知 事 表 彰	功 勞 章	該 当 者 な し
	永年勤続功労章	該 当 者 な し
	精 励 章	2 人
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	功 績 章	1 人
	精 績 章	該 当 者 な し
	勤 続 章	4 人
京 都 府 消 防 協 会 長 表 彰	功 績 章	1 人
	精 績 章	1 人
	精 勤 章	2 人

5 研 修

開催日・場所	課 程	人 数
10月5日 京都府立消防学校	消防団員専科教育警防科（第28期）	1 人
11月9日 京都府立消防学校	消防団員幹部教育初級幹部科（第8期・南部）	2 人
11月30日 京都府立消防学校	消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程（第3期・南部）	2 人

6 訓 練

開催日・場所	訓 練	人 数
4月14日 向日市役所	幹部団員及び初級団員等訓練 ・ 幹部指揮要領訓練 ・ 新入団員規範訓練	40人
5月26日 向日市役所	小型ポンプ取扱い教養 ・ 小型ポンプ取扱い要領教養 ・ 吸水・放水訓練	49人
7月7日 向日消防署	普通救命講習 ・ 心肺蘇生法 ・ AED取扱い訓練	32人
9月28日 向陽小学校	防災訓練 ・ 各種訓練体験ブース運営 ・ 救出救護訓練 ・ 一斉放水訓練	33人
11月2日 第6向陽小学校	第23回向日市消防団消防訓練錬成会 ・ ポンプ車操法訓練	67人

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況 (単位：台)

整備項目	台数
定期車検整備台数	3
定期点検整備台数	3

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具 (単位：個)

機械器具	個数	
小型動力ポンプ	6	
救助器具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36
	チェーンソー	6
	コンクリート破壊器具	6

8 防災センターの整備等 (令和元年度主要事業)

場所	整備内容	金額
東部防災センター	トイレ便器の洋式化	256,300円

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

① 消防施設整備費 (防災安全課)

1 消防水利の整備

水利標識の交換	44か所
---------	------

2 消防水利の状況 (令和2年3月31日現在)

(1) 消火栓

(単位：基)

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準	57	169	34	29	59	14	362
基準外	21	45	25	49	64	5	209
計	78	214	59	78	123	19	571

(2) 防火水槽

(単位：基)

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準 (有蓋) 40m <sup>3</sup> 以上	22	60	14	15	31	3	145
基準外 (有蓋) 40m <sup>3</sup> 未満	2	3	1	3	0	0	9
計	24	63	15	18	31	3	154

## (3) その他の水利

(単位：箇所)

町 別 区 分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プ ー ル	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
その他(受水槽等)	1	1	0	0	2	1	5
計	7	10	1	0	3	3	24

## 9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

## ② 災害対策事業費(防災安全課・教育総務課)

## 1 防災会議の開催

災害に対する予防、応急対策及び復旧について、防災関係機関と書面会議を行った。

内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度防災関連事業報告について</li> <li>・令和2年度防災関連事業計画(案)について</li> <li>・令和元年度向日市地域防災計画の修正(案)について</li> </ul>

## 2 防災パトロールの実施

出水期を前に、関係機関と合同で市内の災害危険箇所の点検を実施した。

開催日・場所	内容	参加者
5月16日 土砂災害警戒区域 (物集女町長野)	土砂災害警戒区域のパトロール、実態把握	27人

## 3 向日市防災訓練の実施

市民の防災意識の高揚及び防災関係機関相互の連携強化を図るため、大規模地震を想定し、向日市防災訓練を実施した。

開催日・場所	内容	参加者
9月28日 向陽小学校	(1) 主会場訓練 ア 避難訓練 イ 避難所運営訓練 ウ ドローンによる情報収集訓練 エ 災害救助犬による捜索活動訓練 オ 簡易トイレの組立て訓練 カ 炊き出し訓練 キ 災害ボランティアセンター設置訓練 ク 初期消火訓練 ケ 土のう作成・救出救護訓練  (2) 展示・体験等 ア 地震体験 イ 煙体験 ウ 子どもを対象としたレスキュー体験 エ ミニ消防車乗車体験 オ ライフライン防災啓発展示 カ 自衛隊車両展示 キ 木造住宅耐震化啓発展示 ク ローリングストック啓発展示・紙食器作成体験 ケ 災害対応型自動販売機展示	約1,000人

4 乙訓2市1町合同 防災一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）

自分の身は自分で守る「自助意識」の高揚を図るため、大規模地震を想定し、乙訓2市1町合同でシェイクアウト訓練を実施した。

開催日・場所	内容	参加者
3月11日 市内各所	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震が発生したと想定し、身の安全の確保</li> <li>緊急速報メール及びエリアメールの配信</li> <li>向日市防災・防犯メールの配信</li> </ul>	約2,700人

5 全国瞬時警報システム（Jアラート）全国一斉情報伝達訓練

消防庁からのJアラートによる情報を自動的に市民及び関係機関に伝達する訓練を実施した。

開催日		内容
第1回	5月15日午前11時	<ul style="list-style-type: none"> <li>向日市防災・防犯メールの配信</li> <li>関係機関に配備しているMCA無線の起動確認</li> <li>回転灯の起動確認</li> </ul>
第2回	12月4日午前11時	
第3回	2月19日午前11時	

6 防災協定の締結

協定先	締結日	内容
大阪ガス株式会社	5月14日	災害時等における復旧活動に要する用地の使用に関する協定
大阪ガス株式会社	5月14日	災害時等における情報提供に関する協定
株式会社Fujitaka JUAVACドローンエキスパートアカデミー京都校	1月9日	災害時等における無人航空機（ドローン）の運用に関する協定
西日本電信電話株式会社京都支店	3月24日	災害時等における特設公衆電話の設置・利用に関する協定

7 啓発事業

事業名	開催日・場所	内容
向日市まつり	11月16日、17日 向日町競輪場	市民の防災意識の向上を図るため、防災コーナーを設置した。
防災とボランティア週間	1月15日～17日 市役所本館、東向日別館	阪神淡路大震災の写真パネル、防災マップ、防災グッズ、備蓄物資等の展示

8 出前講座・出前授業（令和元年度主要事業）

プロジェクト等を活用し、20回延べ691人の市民に防災知識の啓発に努めた。

日時	申請者又は主催者	人数
6月7日	森本区自治防災会	25人
6月19日	Yわいクラブ	10人
7月7日	向日市消防団	34人
7月17日	第5向陽小学校	174人
7月24日	森本区自治防災会	18人
7月26日	森本区自治防災会	10人
7月29日	森本区自治防災会	8人
7月30日	乙訓小学校教育研究会	20人
8月2日	向日市社会福祉協議会	19人
8月5日	向日台連合自治会	34人

日時	申請者又は主催者	人数
8月7日	向日台連合自治会	31人
10月10日	桜台自治会	12人
10月27日	北山縄手町内会	40人
10月30日	向日市子育てセンター	40人
11月10日	乙訓心臓病の子どもを守る会	10人
11月13日	勝山中学校	60人
12月4日	勝山中学校	60人
12月14日	野添町内会	22人
1月29日	向福グループ	52人
2月22日	向日市消防団第6分団	12人

9 災害対応

気象警報等の発表に伴い、災害警戒本部を設置し危険箇所のパトロールなどを行い、市民の安心・安全の確保に努めた。

日時	災害種別	警戒種別	動員数
7月23日	大雨警報	災害警戒本部	17人
7月24日	大雨警報	災害警戒本部	17人
7月25日	大雨警報	災害警戒本部	16人
8月15日 ～16日 台風10号	大雨警報	災害警戒本部	20人
8月19日	大雨警報	災害警戒本部	18人
8月28日	大雨警報	災害警戒本部	16人
9月4日	大雨警報	災害警戒本部	15人
10月12日 台風19号	暴風警報 大雨警報	災害警戒本部	20人

10 避難所環境整備事業（令和元年度主要事業）

災害時に避難所となる学校体育館の環境整備を図るため、スポットクーラーを各中学校に3台ずつ計9台導入した。

## 11 自主防災組織の活動支援

### (1) 自主防災組織が行う防災訓練への支援及び視察研修の実施

組織名	開催日・場所	内容	参加者
西向日自主防災会	7月7日 京都市市民防災センター	・京都市市民防災センターの見学	21人
物集女町 自主防災会	7月27日 物集女公民館	・土のう作成訓練 ・段ボールベッドの組立	35人

### (2) 自主防火防災用器具設置補助事業

内容	補助組織数		内訳	
防火防災用器具を設置する町内会等の自主防災組織に対する補助金の交付	防災用器具設置町内会数	3組織	水バケツ	12個
			ヘルメット	15個
			メガホン	1個
			防水シート	5枚
	消火器設置補助町内会数	18組織	粉末消火器	123本
			格納箱	35個
消火薬剤詰替補助町内会数	1組織	粉末消火器	2本	
		泡消火器	0本	

## 12 危険ブロック塀等撤去補助事業（令和元年度主要事業）

道路や公園などに面したブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、危険なブロック塀等を撤去する費用に対して補助金を交付した。

件数	12件
金額	1,535,000円

## 13 防災マップの作成・配布（平成30年度繰越事業）

防災マップを改訂し、令和元年6月下旬から全戸配布した。

### (1) 主な改訂内容

- ア 桂川及び小畑川の改訂後の洪水浸水想定区域を反映
- イ 気象情報や避難所開設情報の内容に応じて、自分自身でどのような行動を取るかを考え、あらかじめ記入しておくための「私の防災行動計画」（A4）を追加
- ウ 主な避難所を掲載した桂川・小畑川の洪水浸水想定区域図をA2版で作成
- エ 桂川堤防決壊時の浸水想定シミュレーション図を新たに掲載

### (2) 作成部数

30,000部

## 14 小学校施設整備工事（災害復旧）

プールサイド日除け復旧工事（5向小）

## 15 中学校施設修繕（災害復旧）

防球ネット修繕（西ノ岡中）

## 16 小学校施設整備工事（災害復旧）

体育館屋根防水工事（寺戸中）